

2004年3月期中間決算ならびに 経営の進捗状況について

**2003年11月18日
株式会社セゾン情報システムズ**

■ 2004年3月期中間決算 (2003/9) について

2004年3月期中間期(2003/4～2003/9) 中間決算概要 (連結)

<対前中間期>

- 売 上** ソフトウェア開発2桁伸長、パッケージ販売続伸も、システム・機器販売半減で、全体で微減。
 ■**利 益** 売上総利益微増も、販管費増が響き、経常利益は9.8%減。さらに転身支援プログラム実施に伴う特損により、中間純利益大幅減。

<対当初予想>

- 売 上** ソフトウェア開発とシステム・機器販売の好調により、全体で予想を上回る。
 ■**利 益** 「New一番店」の開発仕掛一括償却の他、労務費・人件費(社保、退職給付費用)が予想を上回り、経常利益を圧迫。中間純利益は予想を上回る。

連 結		A 当中間期 2003/9	B 前中間期 2002/9	A/B-1 対前中間期 増減率	C 当中間期 当初予想	A/C-1 対当初予想 増減率
売上高	百万円	10,399	10,482	△0.8%	10,130	+2.7%
売上総利益	百万円	2,687	2,680	+0.3%	2,881	△6.7%
営業利益	百万円	979	1,086	△9.9%	1,100	△11.0%
経常利益	百万円	1,002	1,111	△9.8%	1,117	△10.3%
中間純利益	百万円	384	585	△34.5%	362	+5.9%
中間純利益／株	円	47.42	72.35	△34.5%	44.78	+5.9%
経常利益率	%	9.6	10.6	△1.0P	11.0	△1.4P

2004年3月期中間期 (2003/4~2003/9) 中間決算概要 (個別)

■ 対前中間期 連結と同様の傾向。

■ 対当初予想 連結と同様の傾向。

< 参 考 >

個 別		A 当中間期 2003/9	B 前中間期 2002/9	A/B-1 対前中間期 増減率	C 当中間期 当初予想	A/C-1 対当初予想 増減率
売上高	百万円	9,614	9,685	△0.7%	9,366	+2.7%
売上総利益	百万円	2,321	2,279	+1.8%	2,523	△8.0%
営業利益	百万円	795	823	△3.4%	908	△12.5%
経常利益	百万円	829	857	△3.3%	938	△11.7%
中間純利益	百万円	292	439	△33.6%	272	+7.2%
中間純利益／株	円	36.06	54.32	△33.6%	33.64	+7.2%
経常利益率	%	8.6	8.9	△0.3P	10.0	△1.4P

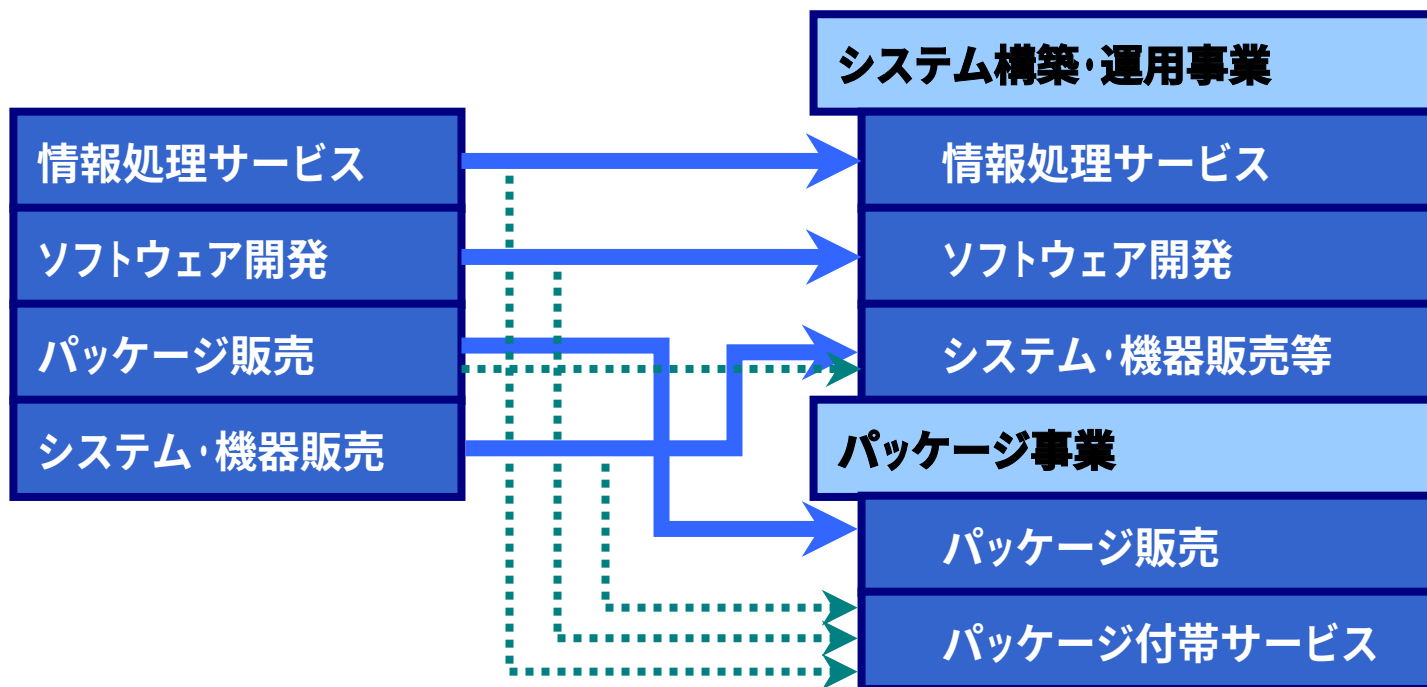
セグメント情報の変更

中間決算短信P2ご参照

**前連結会計年度
以前**
単一セグメント。
4事業品目。

■HULFT等の独立事業としての基盤確立、
事業戦略上の位置付けの重要性増す。
■セグメント別資産・損益管理体制整備。

**当連結中間会計期間
以降**
2セグメント。
5事業品目。

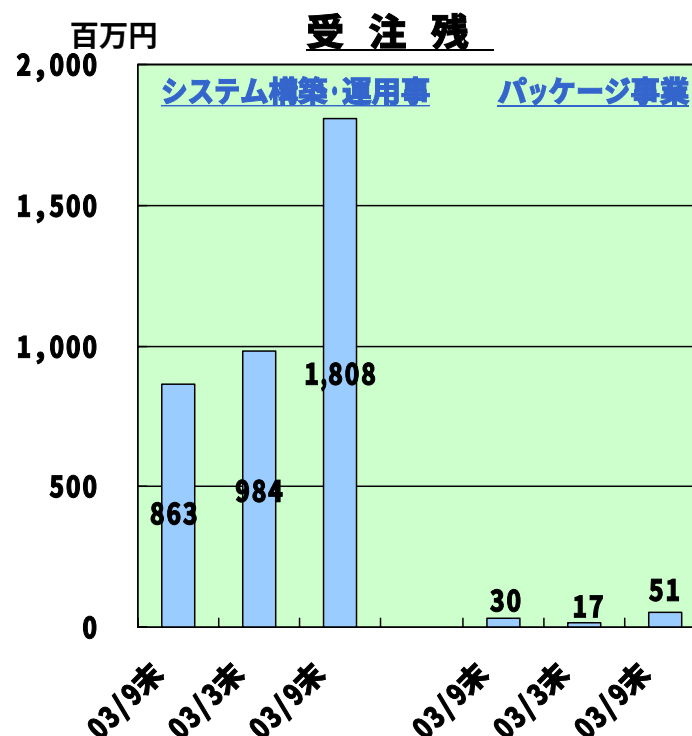
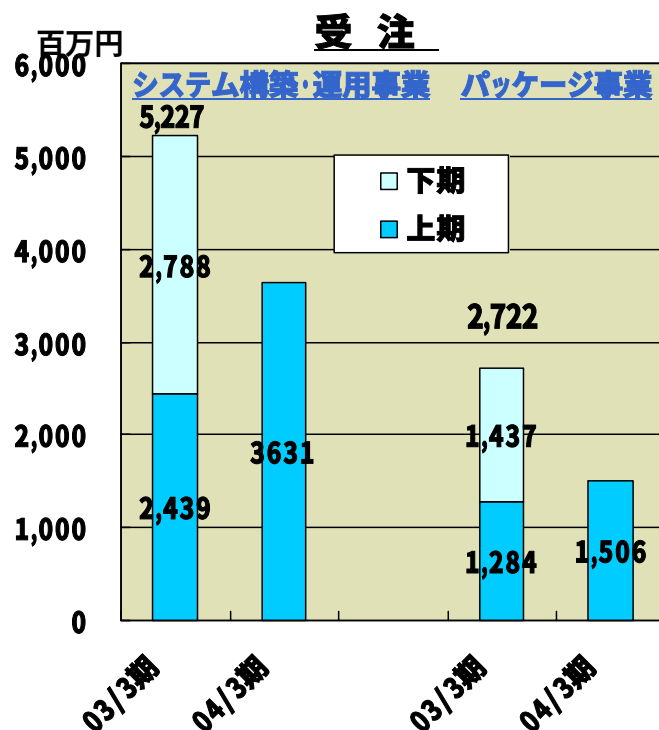


※ただし、管理会計上の売上総利益管理等では、従来の4事業品目と併用します。

2004年3月期中間期(2003/4～2003/9) 受注実績 (連結)

■システム構築・運用事業 金融・流通分野での大型受注増により、受注高・受注残高とも大幅増。

■パッケージ事業 パッケージ販売、付帯サービスとも前中間期を上回る。



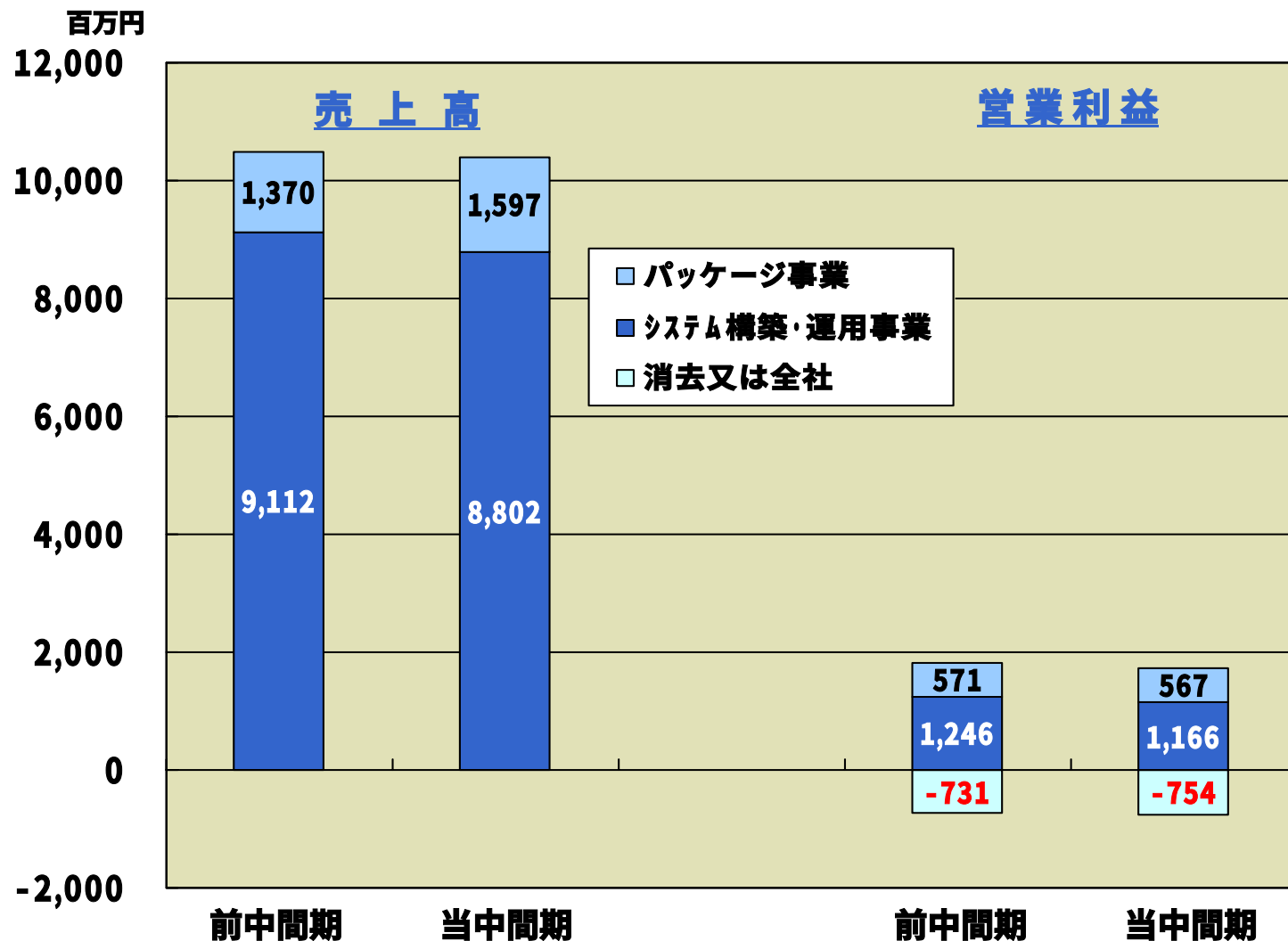
(注) 当中間期より、「システム構築・運用事業」と「パッケージ事業」の2つの事業の種類別セグメント情報を記載しております。これに合わせて、前中間期および前期の受注高、受注残高は当中間期に基準を合わせて表示しております。

2004年3月期中間期(2003/4～2003/9) セグメント別売上高 (連結)

セグメント別売上高	A 当中間期 (百万円)	A/B-1 増減率	構成比	B 前中間期 (百万円)	構成比	備考 (主な増減要因等)
情報処理サービス	5,418	△1.1%	52.1%	5,480	52.3%	流通向け減。Bulas増。
ソフトウェア開発	2,795	+10.6%	26.9%	2,527	24.1%	カード向け活発。
システム・機器販売等	589	△46.7%	5.7%	1,104	10.5%	前期大型案件。
システム構築・運用事業	8,802	△3.4%	84.6%	9,112	86.9%	
パッケージ販売	1,415	+10.0%	13.6%	1,286	12.3%	HULFT増。
パッケージ付帯サービス	181	+116.2%	1.7%	83	0.8%	ミドルウェアソリューション増。
パッケージ事業	1,597	+16.5%	15.4%	1,370	13.1%	
合 計	10,399	△0.8%	100.0%	10,482	100.0%	

(注) 当中間期より、「システム構築・運用事業」と「パッケージ事業」の2つの事業の種類別セグメント情報を記載しております。
これに合わせて参考として、前中間期のセグメント別実績を表示いたしました。

2004年3月期中間期(2003/4～2003/9) セグメント別実績



2004年3月期中間期(2003/4～2003/9)

4大顧客内外別売上高 (連結)

- **中期目標** 2006年3月期に「4大顧客外」比率 52%。
- **4大顧客** クレディセゾン大幅増、流通3顧客減少。
- **4大顧客外** HULFT、Bulas増も、サービサー向け前期大型案件の影響で減少。

顧客別売上高	当中間期(2003/9)		前中間期 (2002/9)		備考 (主な増減要因等)
	販売高 (百万円)	構成比	販売高 (百万円)	構成比	
4大顧客	5,876	56.5%	5,803	55.4%	
(株)クレディセゾン	3,070	29.5%	2,669	25.5%	開発大幅増。
(株)西友	1,126	10.8%	1,316	12.6%	機器、処理減。
(株)そごう	863	8.3%	936	8.9%	処理、機器減。
(株)西武百貨店	816	7.9%	880	8.4%	処理、開発減。
4大顧客外	4,522	43.5%	4,678	44.6%	HULFT、Bulas増。サービ サー向け前期大型案件。

2004年3月期中間期(2003/4～2003/9) 事業品目別売上総利益率(連結)

- 情報処理サービス マシン効率利用促進[+0.9P]、その他[-0.3P]
- ソフトウェア開発 売上増に伴う稼働率向上[+5.7P]、New一番店の開発仕掛償却[-6.6P]、その他[-1.0P]
- パッケージ販売 仕掛増減[-3.6P]、製品償却費増[-1.3P]、その他[+0.4P]
- システム・機器販売 前期低利益率大型案件あり。[+3.1P]

事業品目別 売上総利益率	当中間期 (2003/9)			前中間期 (2002/9)		
	A 売上高 (百万円)	B 売上総利益 (百万円)	B/A %	A 売上高 (百万円)	B 売上総利益 (百万円)	B/A %
情報処理サービス	5,419	1,286	23.7%	5,480	1,267	23.1%
ソフトウェア開発	2,851	299	10.5%	2,540	315	12.4%
パッケージ販売	1,428	1,005	70.4%	1,301	974	74.9%
システム・機器販売	700	96	13.7%	1,159	123	10.6%
合 計	10,399	2,687	25.8%	10,482	2,680	25.6%

- (注) 1 当中間期より、「システム構築・運用事業」と「パッケージ事業」の2つの事業の種類別セグメント情報を記載しておりますが、本表は従来どおり4事業品目別の売上総利益を表示しております。
- 2 この売上総利益は、管理会計の数値です。

2004年3月期中間期(2003/4～2003/9) 外注費 (連結)

外注費	当期(2003/9)			前期(2002/9)			備考
	A 売上高 (百万円)	B 外注費 (百万円)	B/A %	A 売上高 (百万円)	B 外注費 (百万円)	B/A %	
情報処理サービス	5,419	438	8.1	5,480	465	8.5	受託開発増、New一番店 開発。
ソフトウェア開発	2,851	1,293	45.4	2,540	871	34.3	
パッケージ販売	1,428	77	5.4	1,301	63	4.9	
システム・機器販売	700	-	-	1,159	-	-	
合 計	10,399	1,809	17.4	10,482	1,400	13.4	

(注) 当中間期より、「システム構築・運用事業」と「パッケージ事業」の2つの事業の種類別セグメント情報を記載しておりますが、
本表は従来どおり4事業品目別の外注費を表示しております。

2004年3月期中間期(2003/4～2003/9) 販売費及び一般管理費 (連結)

販売費及び 一般管理費		当中間期(2003/9)		前中間期(2002/9)		備考
		金額 (百万円)	売上高 構成比 %	金額 (百万円)	売上高 構成比 %	
人 件 費		1,110	10.7%	989	9.4%	退職給付費用増、法定福利費増 (総報酬制に伴う社会保険増)。
借 家 料 等		101	1.0%	106	1.0%	
広 告 宣 伝 費		119	1.1%	106	1.0%	
減 価 償 却 費		46	0.4%	47	0.5%	
試 験 研 究 費		56	0.5%	55	0.5%	
そ の 他		273	2.6%	288	2.8%	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,708	16.4%	1,593	15.2%	主として人件費増により1.2ポイント悪化。

2004年3月期中間期(2003/4～2003/9) 営業外損益・特別損益 (連結)

営業外収支・ 特別損益		当中間期(2003/9)		前中間期(2002/9)		備考
		金額 (百万円)	売上高 構成比 %	金額 (百万円)	売上高 構成比 %	
営業外収益		24	0.2%	25	0.2%	
営業外費用		0	0.0%	0	0.0%	
営業外収支		23	0.2%	24	0.2%	
投資有価証券売却益		-		-		
その他		1		1		
特別利益		1	0.0%	1	0.0%	
固定資産処分損		39		10		
投資有価証券評価損		7		60		
特別退職加算金		416		-		転身支援プログラム
特別損失		463	4.5%	71	0.7%	
特別損益		-461	-4.4%	-69	-0.7%	

厚生年金基金代行返上について

決算短信P17 (追加情報)、P31 (重要な後発事象) ご参照。

厚生年金の代行部分について厚生労働大臣から将来分支給義務免除の認可を受けた。

2002/4/23
代行返上認可 (将来分)

2003/3中間期 (2002/9)
経過措置適用せず

退職給付会計に関する実務指針 (中間報告) に定める経過措置を適用しない (特益を計上しない)。
《経過措置を適用した場合の影響見込額》: 1,204百万円。

2003/3期 (2003/3)
目減り

《経過措置を適用した場合の影響見込額》: 566百万円。

2003/10/1
代行返上認可 (過去分)

2004/3期 (2004/3)

代行返上益300百万円を予想に織り込む。
(現段階では合理的な測定は困難)

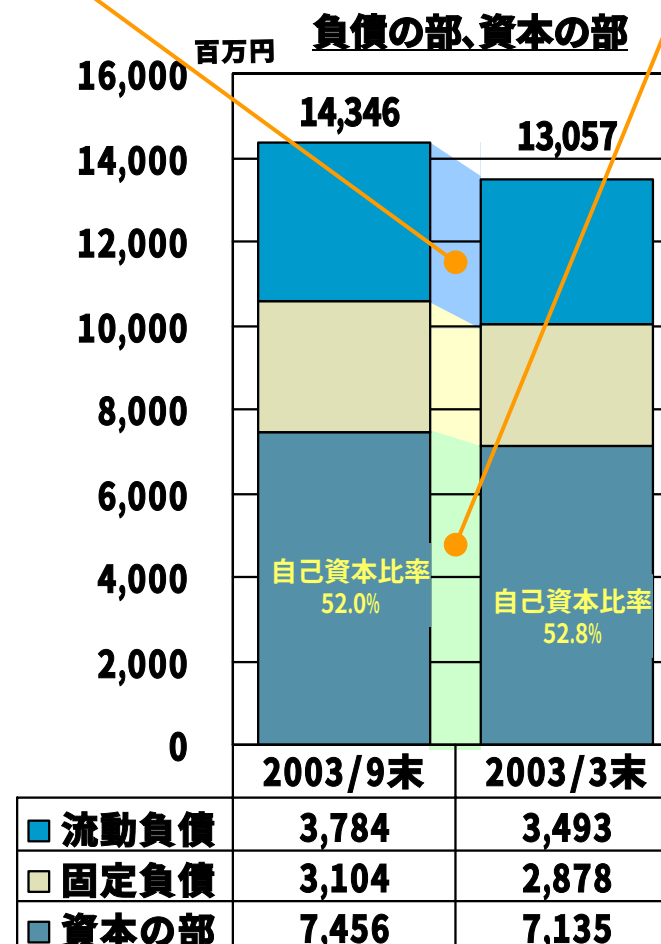
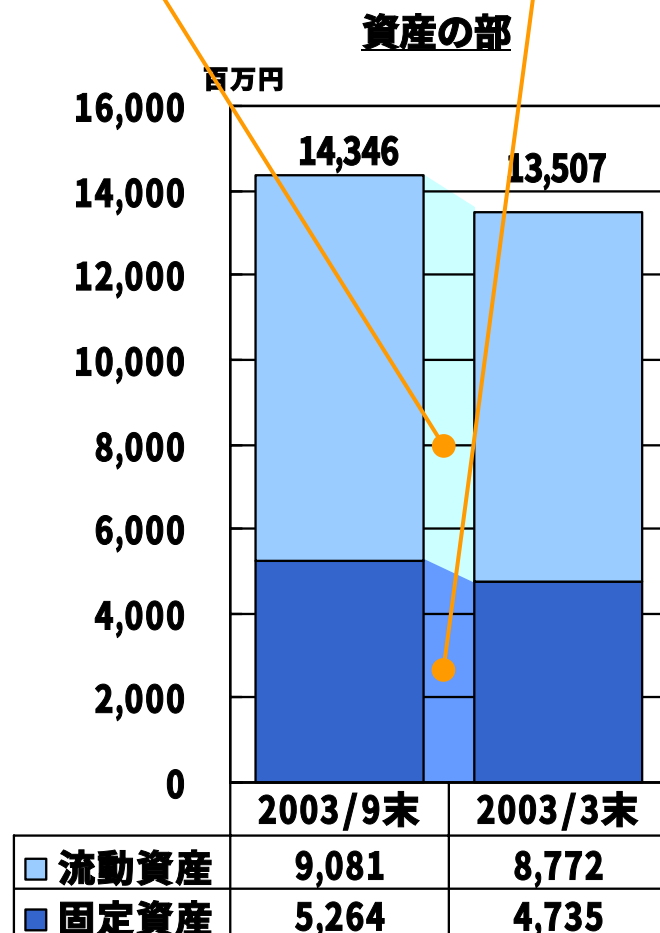
2004年3月期中間期(2003/9末) 連結貸借対照表

■現預金 (+220百万円)
売掛金 (+399百万円)

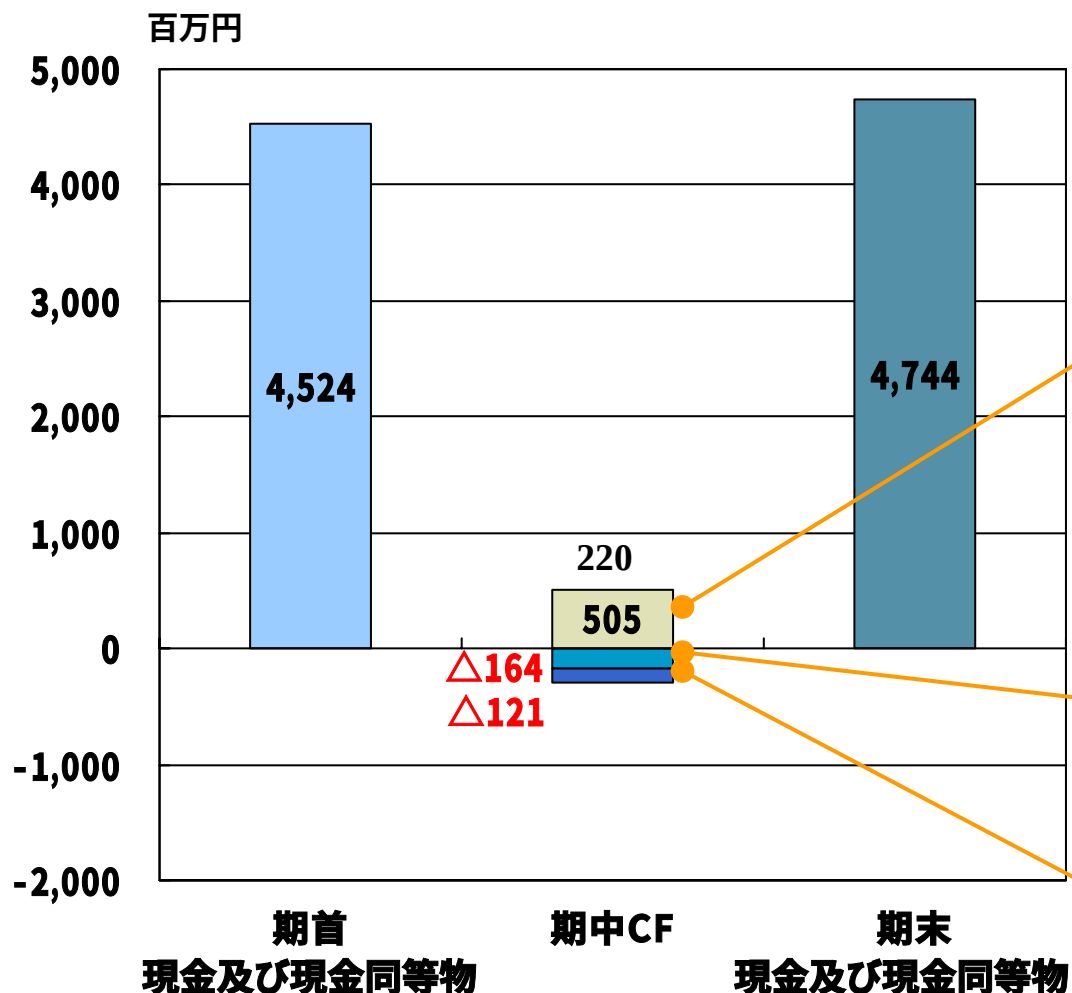
■ソフトウェア
(+472百万円)

■買掛金 (+273百万円)、
未払法人税等 (+221百万円)

■利益剰余金
(+233百万円)



2004年3月期中間期 (2003/4~2003/9) 連結キャッシュ・フロー



営業活動によるCF: 505百万円

税金等調整前当期純利益[540]
減価償却費[301]
固定資産処分損[39]
賞与引当金[105]
退職給付引当金[87]
投資有価証券評価損 [7]
売上債権[△399]
その他債権[△415]
たな卸資産[26]
仕入債務[273]
その他債務[△415]
法人税等支払[△110]
法人税等の還付額[320]等

投資活動によるCF: △164百万円

投資有価証券取得[△40]
有形固定資産取得[△106]
その他の投資の取得[△54] 等

財務活動によるCF: △121百万円

配当金支払[△121]

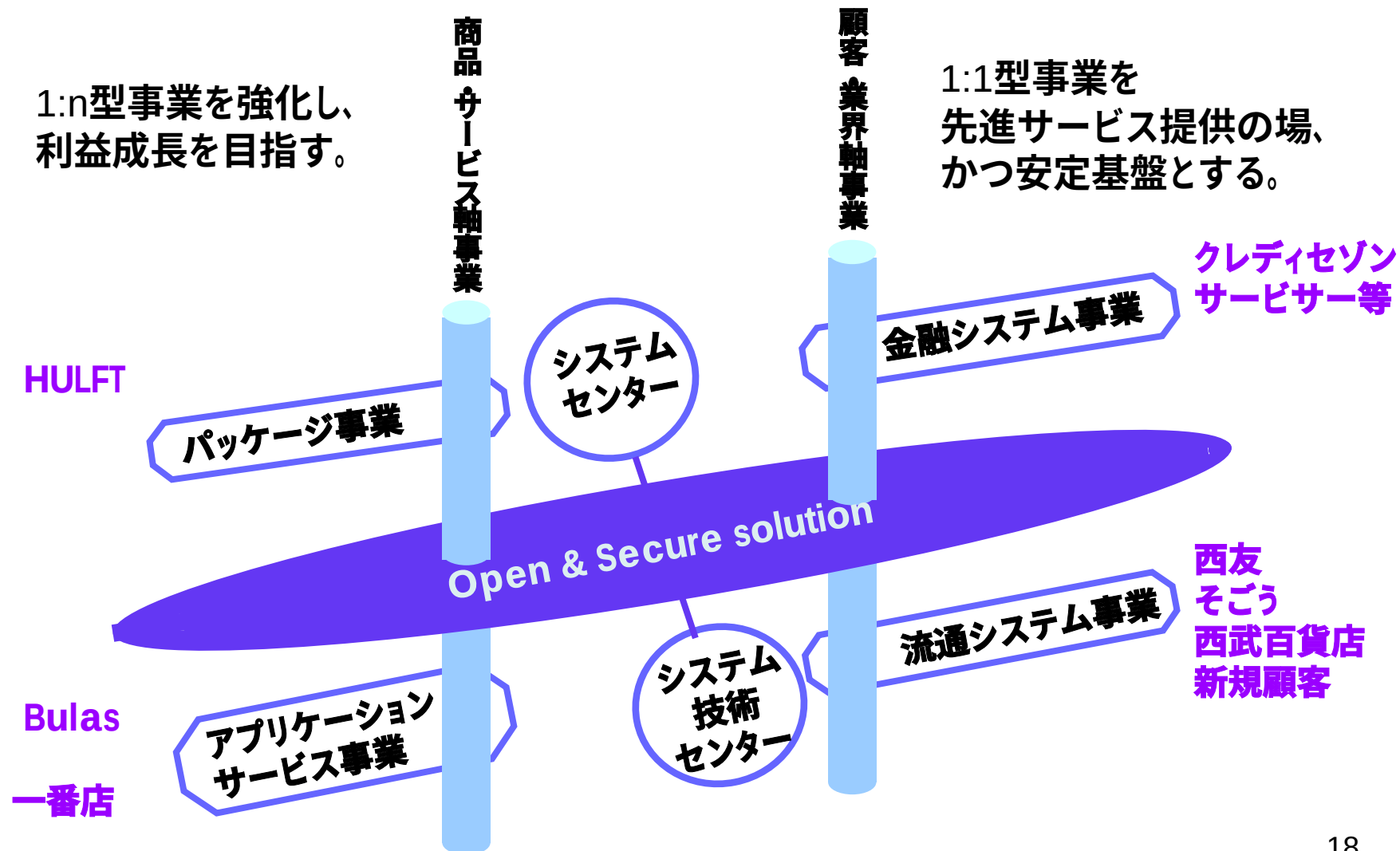
2004年3月期中間期(2003/4～2003/9) 連結子会社の概況

(2003年9月現在)

社 名	資本金 (百万円)	持株 比率	業績	当中間期 2003/9 (百万円)	前中間期 2002/9 (百万円)	事業内容
(株)流通情報ソリューションズ	90	100%	売上高	1,966	2,048	(流通業向け情報サービス) ・主として、ミレニアムリテイリング グループ向け事業。
			経常利益	205	198	・情報処理サービスを当社へ再委託。 ・ソフトウェア開発を当社から受託。
(株)ファシリティエキスパート サービスズ	60	100%	売上高	424	385	(情報処理オペレーションサービス) ・当社の情報処理オペレーションを低 コストで受託。
			経常利益	35	58	・新規顧客開拓進む。先行経費の発 生あり。

■事業の推進状況について

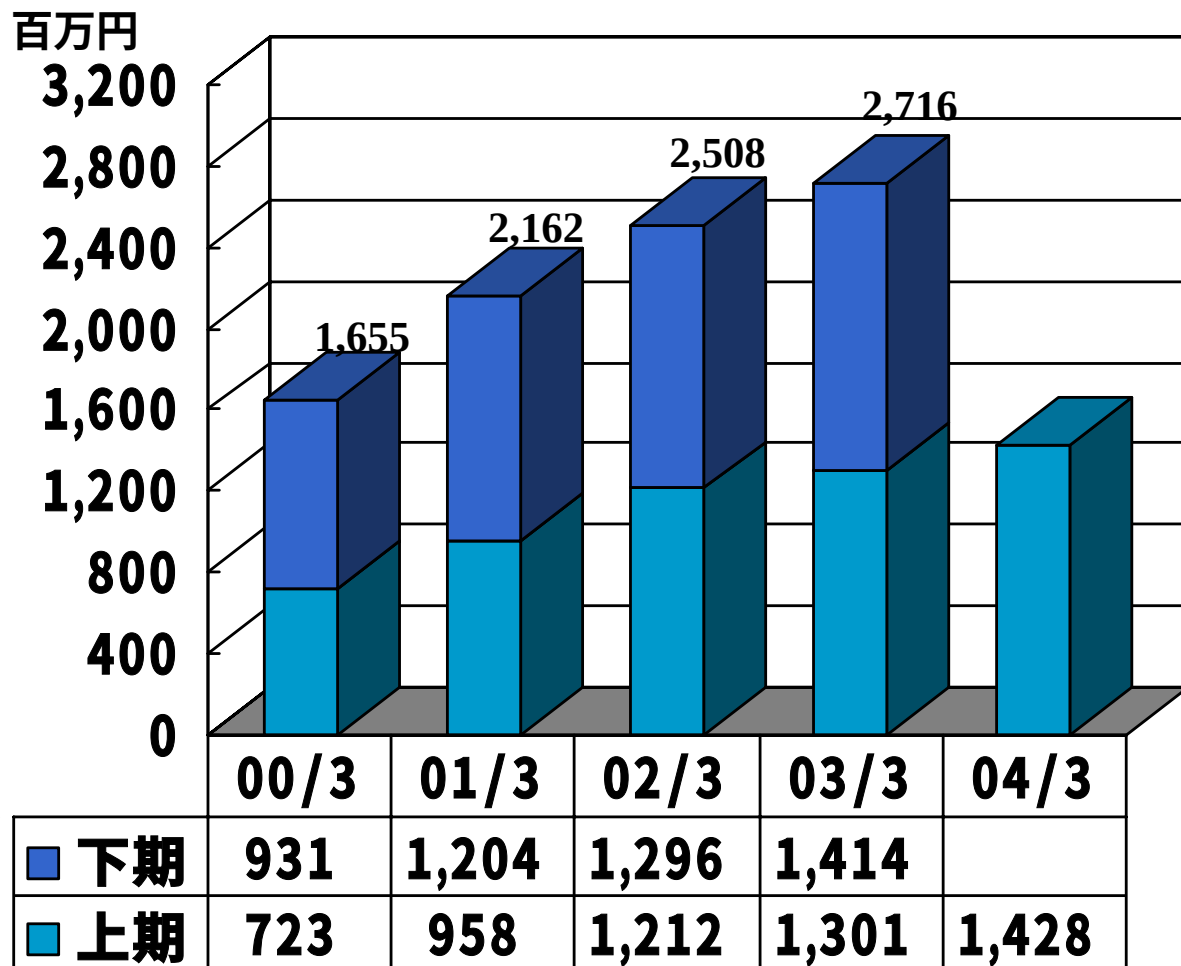
2軸による事業VISION



TCP/IP企業内・企業間通信ミドルウェア《HULFT》 上期下期別売上高の推移

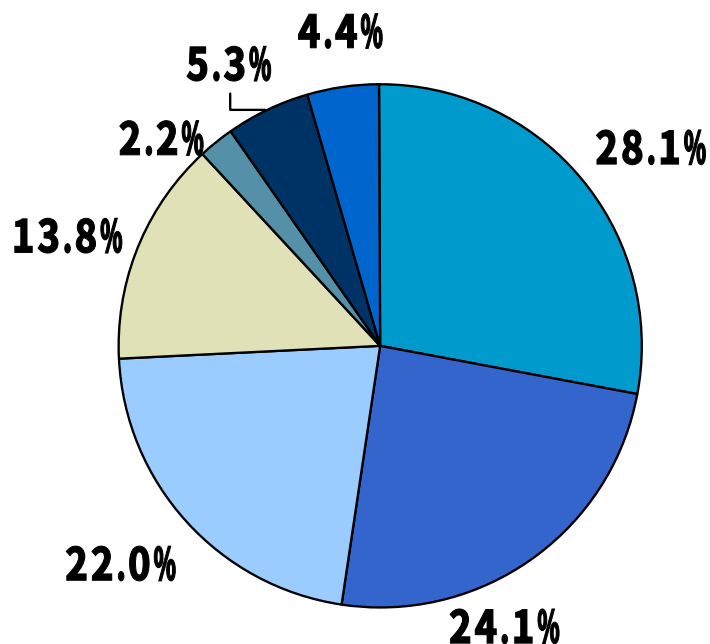


「HULFT」は、当社が開発・販売するオープンネットワーク上での異機種間ファイル転送を自動化する通信ミドルウェアです。国内では圧倒的なシェアを有し、①基幹系システムと情報系システムの連携、②企業統合・再編、③SCM（サプライチェーンマネジメント）、④データウェアハウスの構築とデータマイニングへの活用、⑤ERPとの連携など、様々なデータ連携が必要とされる局面において、「ファイル転送ならHULFT」とデファクトスタンダードに位置付けられております。



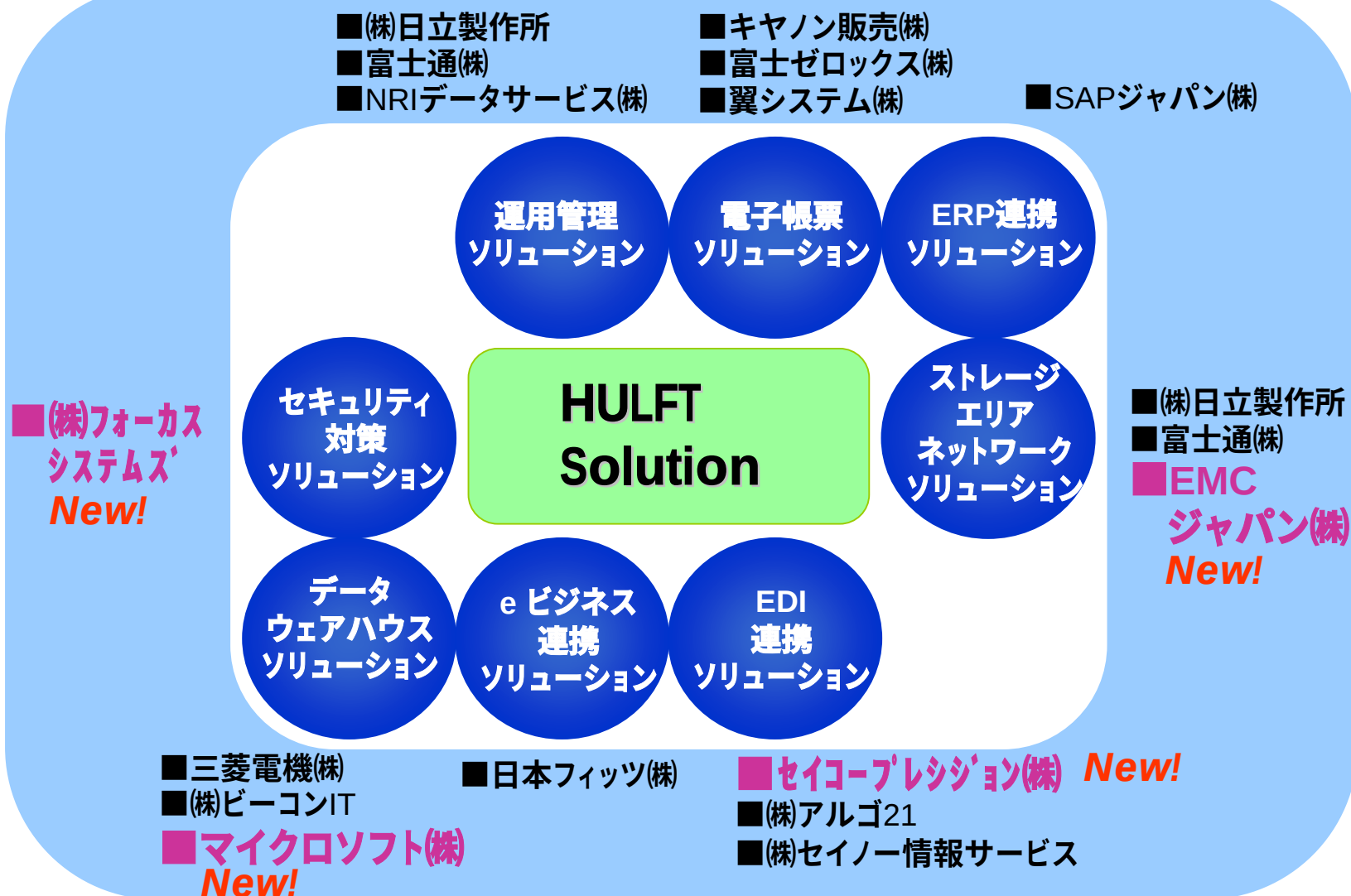
TCP/IP企業内・企業間通信ミドルウェア《HULFT》 ユーザ業種別売上比率と売上伸び率

HULFTユーザ業種別売上状況
2004/3 中間期

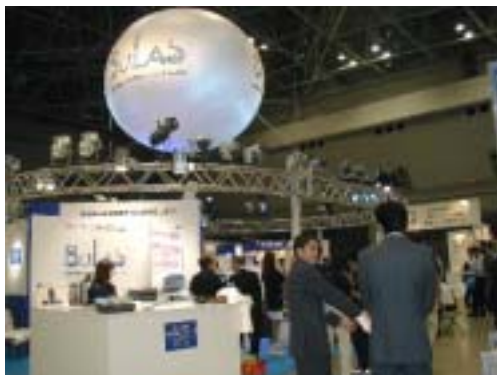


業種	(対前中間期増減率)
■ 情報・通信	(+19.0%) 大口案件の増加。
■ 製造	(-22.5%) 電機、自動車堅調。化学、食品、医薬減。
■ 金融	(+53.6%) 勘定系、ATM、地銀共同センター。
■ 流通・サービス	(-4.3%)
■ 公共	(-63.4%) 中央官庁減。
■ その他	(-1.0%)
■ ディストリビュータ 経由	(-4.6%) 店頭販売・通信販売。業種不明。

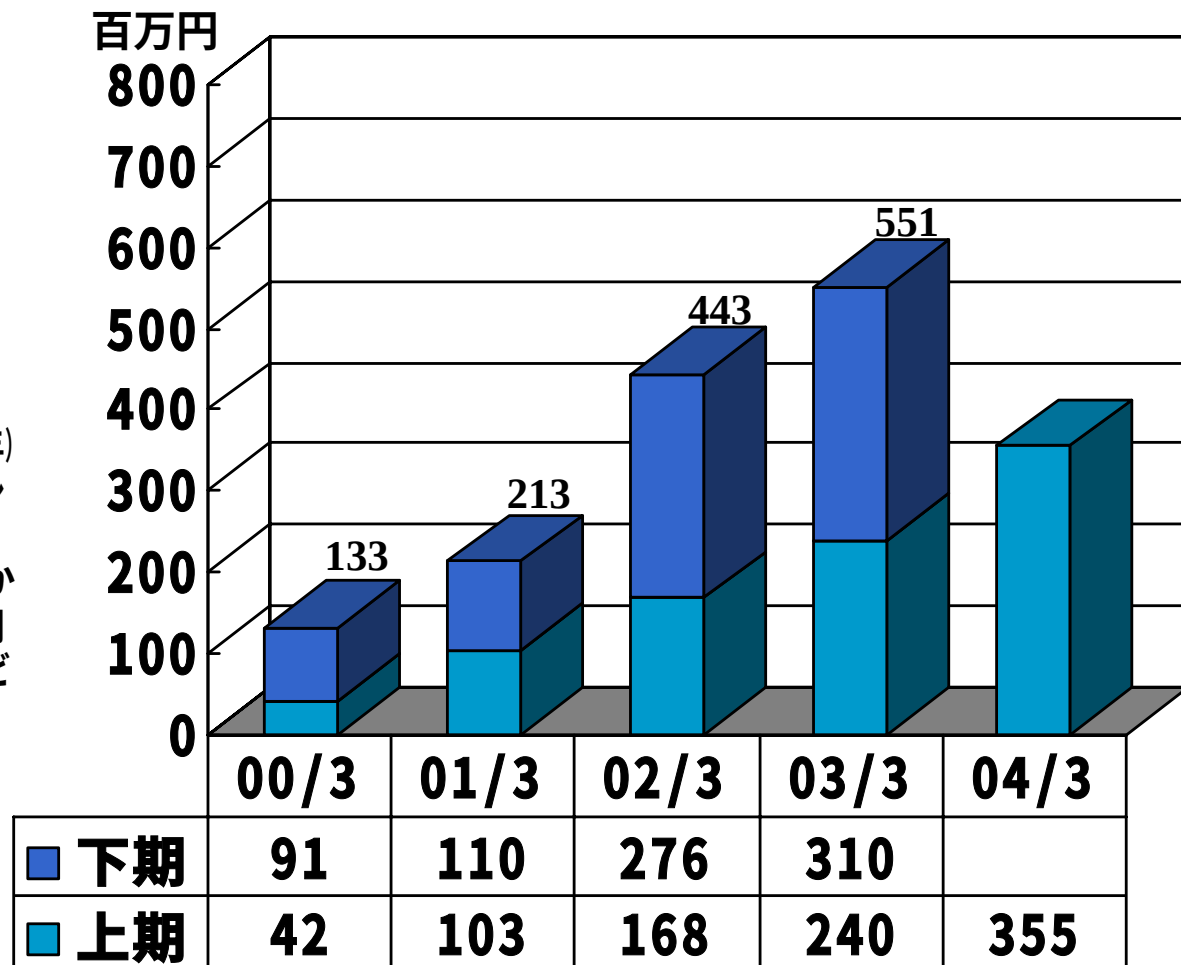
TCP/IP企業内・企業間通信ミドルウェア《HULFT》 強化された連携ソリューション分野と提携商品群



給与業務アウトソーシングサービス《Bulas》 売上の推移

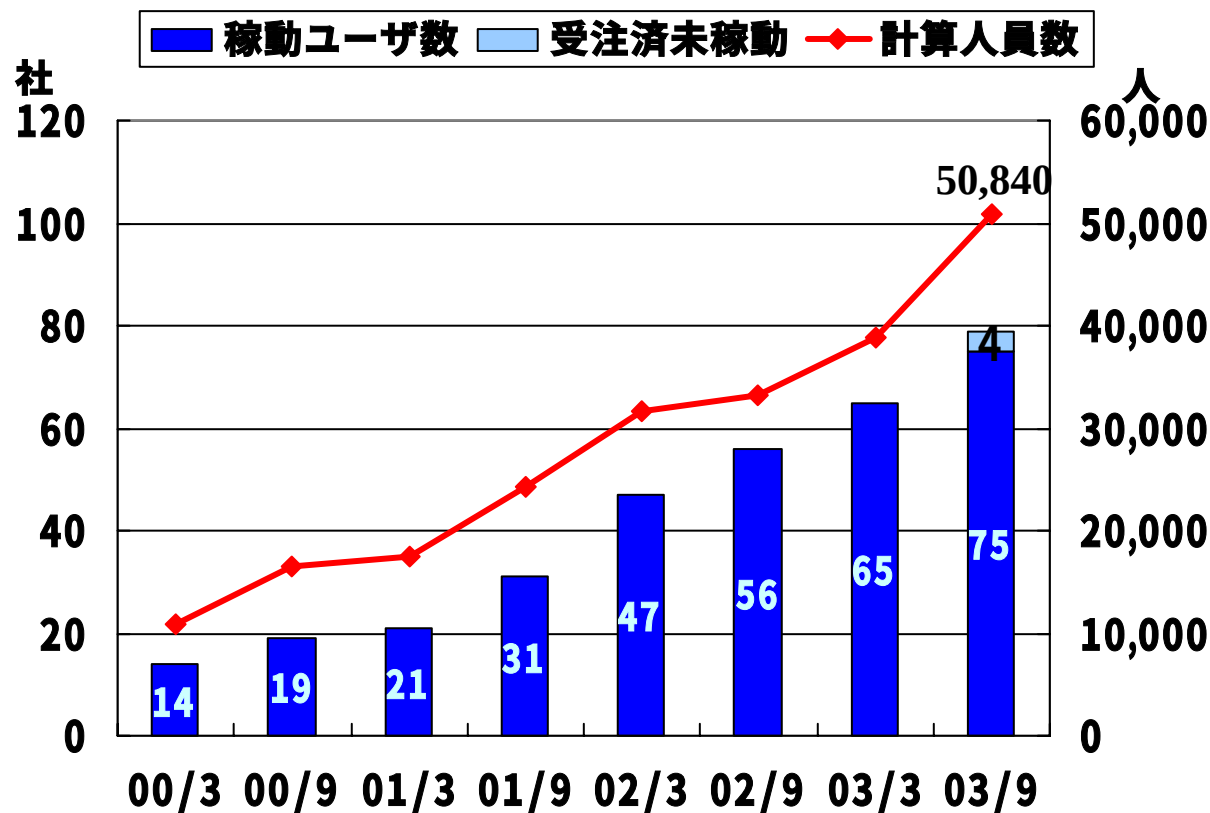


「Bulas」は、当社の設立（1970年）以来行なってきた主としてセゾングループ向けの給与業務アウトソーシングサービスを、1998年から一般市場向けに汎用化し展開しているアプリケーション・サービスです。



給与業務アウトソーシングサービス《Bulas》 稼働ユーザ数・計算人員数の推移

■ 新規顧客を順調に開拓。



(注) 稼働ユーザ数は、合併による影響を過去に遡って調整しております。

給与業務アウトソーシングサービス《Bulas》 ユーザ事例

㈱新生銀行

(従業員数:2,055名)

～Bulasのサービス内容～

導入背景	人事・給与業務の再構築
メリット	短期間でのシステム稼働。要員削減、効率改善によるコスト削減実現

BulasAgent
業務代行サービス

社会保険代行
サービス

BulasPayroll
給与計算システム

BulasAttendance
Web勤怠管理サービス

トリンプ・インターナショナル・ジャパン(株) (従業員数:1,947名)

導入背景	給与業務の属人化の改善
メリット	要員削減・安定した業務の実現

BulasAgent
業務代行サービス

BulasPayroll
給与計算システム

BulasPayslip
インターネット明細照会

シナネン(株)

(従業員数:462名)

導入背景	アウトソーシング、パッケージの検討
メリット	運用負担の軽減、コスト削減実現

BulasAgent
業務代行サービス

BulasPayroll
給与計算システム

「New一番店」開発と 新規顧客開拓への取組み

受 注

「New一番店」+「カスタマイズ」による長期アウトソーシング
契約を某GMSから獲得。

開 発 状 況

①新技術活用に伴う低生産性 (技術習得等)、②「New一番店」の機能不足に伴う追加開発の発生により、当初計画よりも大幅に工数が増加。

2004年3月稼動を目指し、プロジェクト遂行中。

今期業績 への影響

「New一番店」投資は、財務の健全性を維持する観点から、
会計上、期末に開発仕掛分を一括償却。
本件が今期の経常利益に与える影響は次の通り。

中間期 (実績)	▲189百万円
下 期 (見込)	▲213百万円
通 期 (見込)	▲402百万円

4大顧客を取り巻く状況 (新聞報道より)

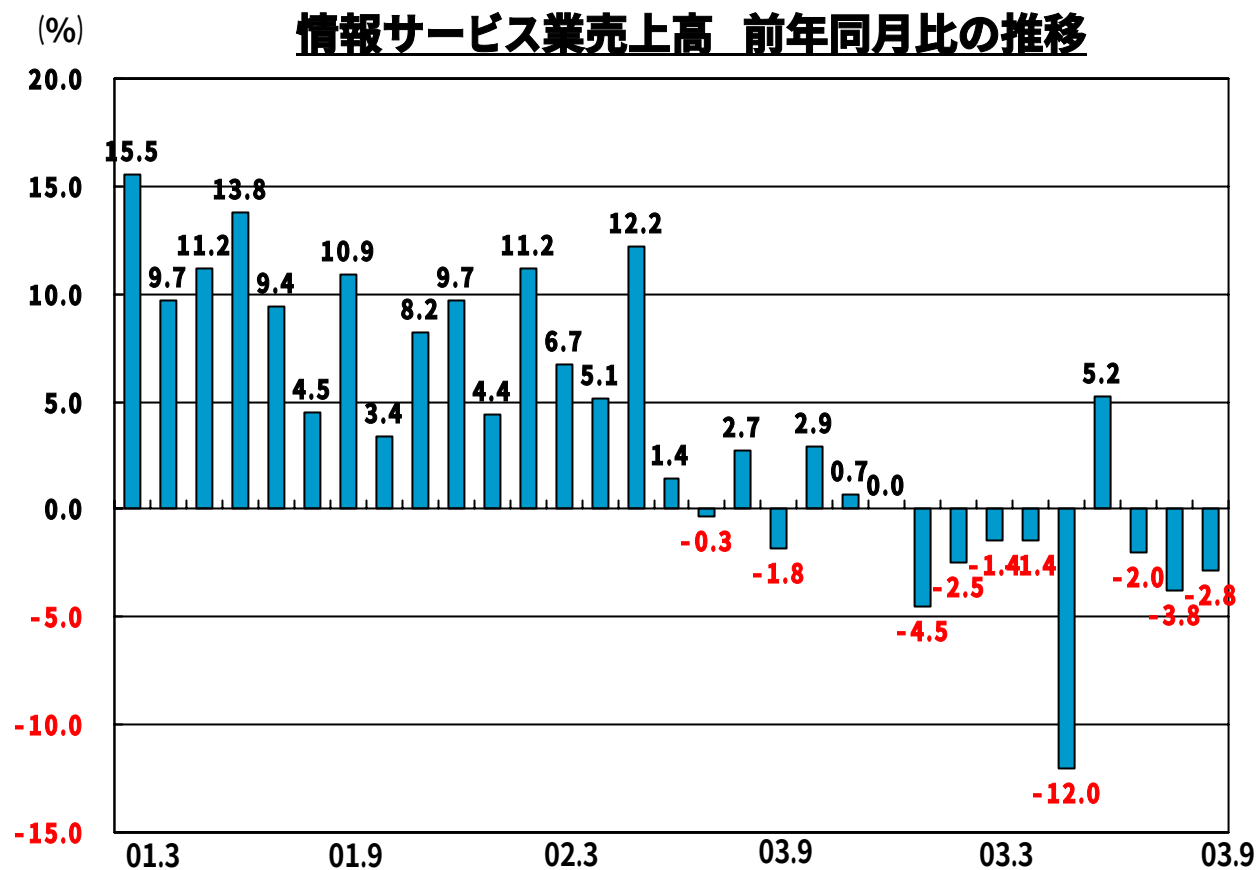
4大顧客	当社の経営・事業に影響を及ぼす出来事	
(株)クレディセゾン	2003年 8月 9月 9月 9月 10月	出光クレジット(株)への資本参加 (50%) と包括提携発表。 (株)長崎屋との提携カード発表。 オンラインスピード発行 <<Saison Card Express>>体制拡充。 情報端末「Saison Station」スタート。 損保ジャパンとセゾンカード会員向け専用保険「Super Value Plus」発表。 複数の口座を管理できるアグリゲーションサービス<<SAISONPASS>> バージョンアップ発表。
(株)西友	2003年 8月 12月	ウォルマートによる「スマートシステム」店舗実験開始。取引先と販売・在庫 情報を共有する「リテールリンク」の基盤。2～3年で(株)西友本体の全店舗 で稼働へ。 決算期を2月から12月に変更予定。
(株)そごう	2003年 6月 10月	ミレニアムリテイリンググループとして経営統合。 (株)西武百貨店の2004年2月期の営業利益見通しが前期比90%増で、 私的整理ガイドラインに基づく再建計画を2年前倒しで達成の見込み。 (株)そごうも計画より1年早いペースで収益改善進捗。
(株)西武百貨店		

■ 情報・ソフト業界の中での位置付け

特サビ動態統計

情報サービス業売上高 前年同月比の推移

■6月を除き、前年割れが続いている。



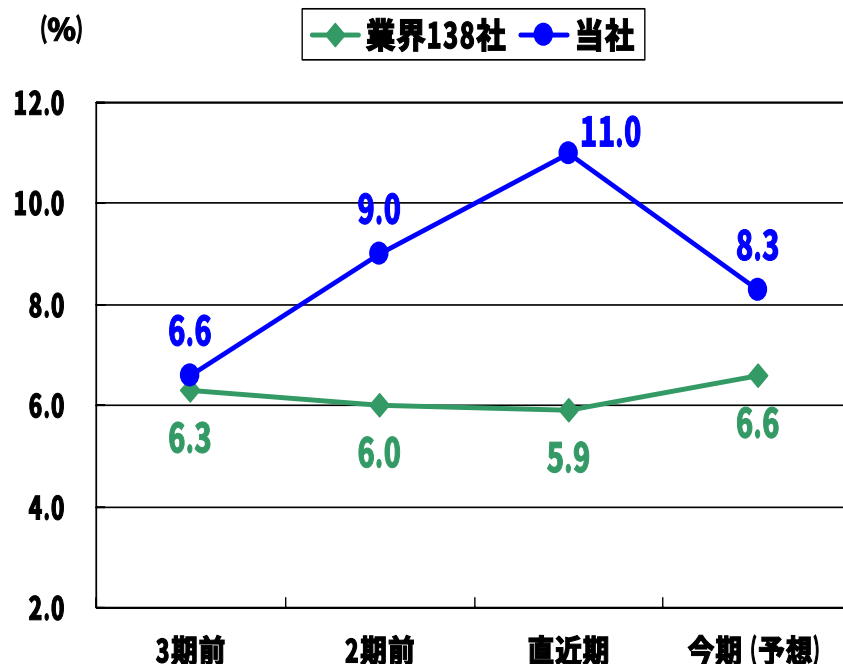
出典：経済産業省 特定サービス産業動態統計・2003年9月分 (速報)

情報・ソフト業界の中での位置付け

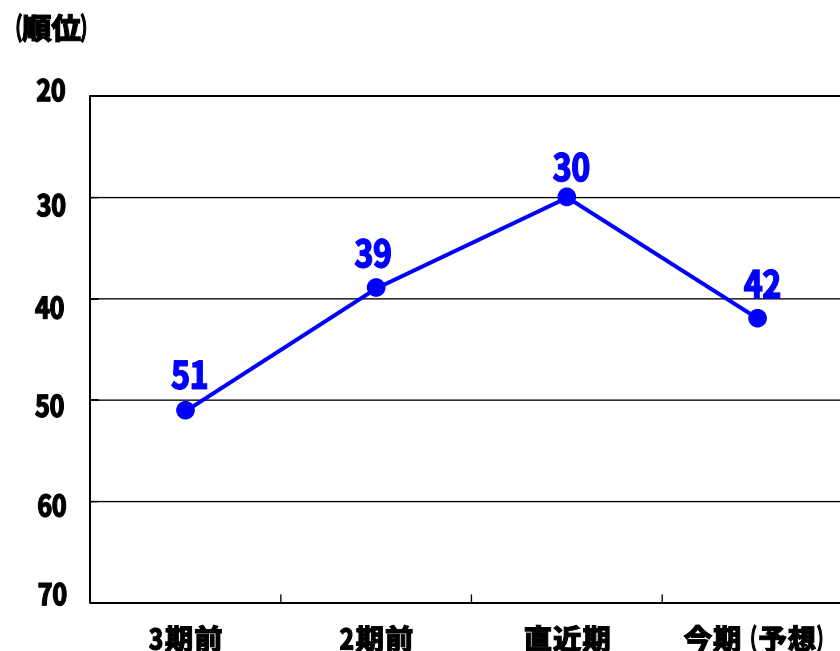
経常利益率・経常利益順位

■ 今期は、経常利益率、経常利益順位ともに下げる見込み。

経常利益率の推移



経常利益順位の推移



東証一部42社、東証二部24社、ジャスダック72社、合計138社を連結ベースで当社が集計。
今期 (予想) は各社の11月14日発表分までを反映。

■ 2004年3月期下期および通期の予想

2004年3月期通期予想 セグメント別売上高 (連結)

■通期予想 顧客の経費削減、投資縮小・先延ばしで、当初予想よりも下方に予想。
通期で前年超を目指す。

(百万円、%)

セグメント別 売上高	上期実績		下期予想		通期予想	
	金額	対前年同期 増減率	金額	対前年同期 増減率	金額	対前年同期 増減率
情報処理サービス	5,418	△1.1%	5,255	△4.4%	10,674	△2.7%
ソフトウェア開発	2,795	+10.6%	3,205	+20.8%	6,000	+15.8%
システム・機器販売等	589	△46.7%	781	△27.8%	1,370	△37.3%
システム構築・運用事業	8,802	△3.4%	9,242	+0.1%	18,045	△1.6%
パッケージ販売	1,415	+10.0%	1,656	+18.2%	3,071	+14.3%
パッケージ付帯サービス	181	+116.2%	171	+8.1%	353	+45.4%
パッケージ事業	1,597	+16.5%	1,827	+17.2%	3,425	+16.9%
合 計	10,399	△0.8%	11,070	+2.6%	21,470	+0.9%

2004年3月期通期予想 上期下期別損益計算書 (連結)

■下期傾向 売上減の影響のほかNew一番店の開発仕掛一括償却が利益を圧迫。

■代行返上 代行返上益3億円を予想に織り込む。現時点での推算は難しい。

(百万円, %)

連 結	上期実績		下期予想		通期予想		
	金額	対前年同期 増減率	金額	対前年同期 増減率	金額	対前年同期 増減率	当初予想差
売 上 高	10,399	△0.8%	11,070	+2.6%	21,470	+0.9%	△260
経 常 利 益	1,002	△9.8%	778	△36.5%	1,780	△23.8%	△570
経 常 利 益 率	9.6%	△1.0P	7.0%	△4.3P	8.3%	△2.7P	△2.5P
当 期 純 利 益	384	△34.5%	616	—	1,000	+3,254.3%	△218
当 期 純 利 益 率	3.7%	△1.9P	5.6%	+10.7P	4.7%	+4.5P	△0.9P
当期純利益／株	47.42円	△34.5%	76.07円	—	123.49円	+3,254.3%	△27.02円

〈 お問い合わせ先 〉

(株)セゾン情報システムズ 経営企画部 IR担当窓口

171-0014 東京都豊島区池袋2-65-18

Phone: 03-3988-3477 Fax: 03-3988-7513

email kikaku@saison.co.jp

<http://home.saison.co.jp/SIS/>



SAISON
INFORMATION
SYSTEMS
CO.,LTD.